

補習③「アニマルウェルフェアって？」

エシカル消費

人・社会への配慮	誰かのために	—	・フェアトレード商品 ・からだを思いやる商品
	社会のために	—	・寄付付き商品 ・障がい者が作った商品 ・アニマルウェルフェア
	地域への配慮	—	・地産地消 ・地元での買い物
環境への配慮	地球のために	—	・被災地への応援消費 ・伝統工芸 ・国産材の利用
		—	・リサイクル(エコマーク付き)商品 ・食品ロス削減 ・オーガニック(有機)商品など ・無農薬栽培・自然栽培

平成三十一年三月

当番
小高
磯畑

皆さんは、最近ほっとしたことはありますか？ あったかいお茶を飲んだときや事故を回避したときなど…いろいろありますよね。私は、彼と会っていた女性がウェディングプランナーだと知り、ほっとしました。

ところで、これまでの授業では、人や地球環境を中心に行ってきましたが、今回は動物にスポットを当ててみたいと思います。皆さんは、焼肉を食べたり、新しい化粧品を買ったり、ペットを飼ったりするのは好きですか？私も、カメを2匹飼っているのですが、見るたび癒やされているんです。

でも、世の中には、身動きが取れない狭い空間で育てられた畜産動物、痛みを伴う実験動物、ブームに乗っかり無計画に劣悪な環境で繁殖させられる愛玩動物など、様々な問題があるのです。

今回の授業で皆さんに知ってもらいたいことは、『アニマルウェルフェア』という考えがある、ということです。

『アニマルウェルフェア』とは、動物福祉と訳されたりしますが、“人間が動物に対して与える痛みやストレスといった苦痛を最小限に抑えるなどの活動により、動物の厚生を実現する考え”のことをいいます。

これは、動物を利用することや動物の命を頂くことを否定するのではなく、たとえば、自由に動けるような広い場所で飼育したり、麻酔を使ったり、必要なエサを与えきちんと管理するなど、動物の感じる苦痛の回避や除去に極力配慮しようとする考えなのです。

私たちが値段の安さを求めすぎると、生産者はコスト削減を強いられ、結果、動物にまで影響が及びます。でも、そのことに私たちが無関心すぎると…さらに安さを求めるという悪循環を生んでしまうのですね。

買い物をする際、豊かで便利な社会の裏側で犠牲になっているものを考えてみましょう。それは、動物を思いやる社会へとつながっていくはずです。動物と共存する社会へ、**ちょっぴり幸せを贈って**みませんか？

来月からは、エシカル消費を実践している方のお話を掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎672-5994

【ひとくちメモ】

※アニマルウェルフェアに代表的なマークはありませんが、「動物実験をしていない」や「放牧」など、動物への気遣いを商品に表示しているものがあります。

このほかにも…

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2015年9月の国連サミットで採択されたものです。

国連加盟193か国が「地球上の誰一人として取り残さない」という誓いのもとに、2030年までに達成すべき17の目標を掲げました。その中には、「12. つくる責任つかう責任」といったエシカル消費につながる目標も掲げられています。



『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。

ある日の先生

今日は幸せな金曜日。連絡が取れなかったのは、この日のためだったなんて…。

私、ちょっぴり…うん…
とっても幸せ♥

